

重箱読みと湯桶読み

多くの漢字は、二つ以上組み合わせられ、熟語として使われます。

この場合、上を音読みすれば下も音読み、上を訓読みすれば下も訓

読みするのが普通です。しかし、「^{ジュウバコ}重箱」のように、古くからの習慣で、

上を音読みして下を訓読みするものや、「^{ユトウ}湯桶」のように、上を訓読み

して下を音読みするものもあります。前者のような読み方を、俗に、

「重箱読み」、後者のような読み方を「湯桶読み」とっております。

(重箱読みの例)カタカナは音、ひらがなは訓。

ヤクバ チュウぶる ニクや ダイどころ ソウキ ホンば
役場・中古・肉屋・台所・雑木・本場

(湯桶読みの例)

みホン ばショ くみキョク つきベツ みブン ぶるホン
見本・場所・組曲・月別・身分・古本

なお、次の例は、音読みと訓読みと二通りの読み方のある熟語です。

ジョウゲ フ ボ スイシャ ソウモク ネンゲツ サンドウ
上下・父母・水車・草木・年月・山道

うえした ちちはは みずぐるま くさき としつき やまみち
オンショク チュウカン シュンブウ ウスイ ハクウン コウヤ
音色・昼間・春風・雨水・白雲・荒野
ねいろ ひるま はるかぜ あまみず しらくも あれの

ただし、次の熟語は、音読みと訓読みとでは意味にやや違いがありますので、注意する必要があります。

ショウトウ コンゲン シジョウ トウスウ ショウブ
小刀・根元・市場・頭数・勝負

こがたな ねもと いちば あたまかず かちまけ

また、音読みにも二通りある熟語もあります。

ケイテイ キンいろ ハクイ キョウリョク メイセイ
兄弟・金色 白衣・強力・明星

キョウダイ コンジキ ビヤクエ ゴウリキ ミョウジョウ

上の音は漢音で、下の音は呉音です。呉音は歴史が古くて長いので、特定の意味、使い方をするものが多いようです。これらは、漢字に関係なく、言葉として使用されている、という感じの特に強いものです。

以上で、漢字の見方、考え方について、おおよそおわかり頂けたと思います。そこで、今度は、部首を一つ一つ系統的に調べていくことにします。これから示す部首を全部理解して覚えておくならば、初めて見る漢字でも、きっと、何とか解くことができると思います。そのつもりで、一つ一つ、じっくりと字形を観察し、その意味内容を考えて頂きたいと思います。